

令和2年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人					450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	211,542 人					480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-1 学校教育の充実							
<p>①【教育内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校と地域が連携し、ふるさとへの愛着心を高める体験活動に取り組みます。 ○子どもたちの学校の居場所づくりや分かりやすい授業に努め、魅力ある学校づくりを推進します。 ○ICTを活用し、現代社会に必要な情報活用能力を育成します。 <p>②【個に応じた学習支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○習熟に応じて、少人数で指導することにより、学力向上に取り組みます。 ○気がかりな児童・生徒に対応した学級運営に取り組みます。 ○特別に支援が必要な児童・生徒の発達段階に応じ、適切に取り組みます。 <p>③【就学指導体制・教育相談体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いじめや不登校の兆しを早期に発見し、関係機関と連携して児童・生徒の支援に取り組みます。 ○就学による学校生活が円滑に移行できるよう、保育園等と小・中学校の連携を図ります。 ○教職員の業務負担を軽減するため適正な人員を配置し、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。 <p>④【安全な教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○児童・生徒が安全に安心して学ぶことができる教育環境を整備します。 ○障がいをもつ児童・生徒に配慮した学習環境の確保を図ります。 ○省エネ機器の採用や自然環境に配慮した施設整備を推進します。 <p>⑤【安全で安心な学校給食の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心な学校給食の提供に取り組みます。 ○学校給食を通じて、地産地消、食の大切さや食文化などの食育に取り組みます。 							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
大規模改修工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校					毎年2校 (令和6年度)
学校へのタブレット端末 導入台数(累計)	200台 (平成30年度時点)	7,688台					500台 (令和6年度末)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
①-1	教育委員会運営事業	生涯学習、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するため、教育委員会および総合教育会議を開催します。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
		月1回の定例会および臨時会合わせて教育委員会を13回、また、総合教育会議を2回開催し、第二次坂井市教育振興基本計画の策定や規則等の改正など教育行政について協議を行いました。	2,973 2,544
No.	事業名	事業内容	所管課
①-2	教育委員会事務局事業	教育行政を一体的に推進するため、教育委員会事務局全体の運営調整を図ります。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
		教育行政全般にわたり運営調整を図るとともに、教育振興会等への支援を行い教育振興に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症に関しては、非接触型体温計やマスク、消毒液などの購入や清掃・消毒業務の委託により拡大防止に努めたほか、コロナ禍の子どもたちが笑顔で楽しく過ごせるように支援することを目的に、市内店舗で利用できる商品券(1人あたり1万円分)を市内在住の小中学生7,807人全員へ配布しました。	134,312 122,294

No.	事業名	事業内容	所管課
①-3	キャリア教育支援事業	職場体験や外部講師を招いての講演会を実施するなど、生徒が主体的に進路を選択できる能力や職業観を身に付けられるよう取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のため、キャリア教育の根幹となる職業体験や外部講師を招くことができませんでした。コロナ禍においても、各中学校が創意工夫をしながら、生徒自身が坂井市の魅力や特徴、そして自身の将来について考える機会を創出しました。		220 0
①-4	地域と進める体験推進事業(小学校教育振興事業)	児童が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休校中、学校再開後も地域の方と交流することが難しく、例年と同様の農業体験や地域との交流活動はできませんでしたが、各学校の創意工夫により規模の縮小や内容の見直しを行い、農業体験や地域活動に取り組みました。		2,800 2,800
①-5	地域と進める体験推進事業(中学校教育振興事業)	生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休校中、学校再開後も地域の方と交流することが難しく、例年と同様の農業体験や地域との交流活動はできませんでしたが、各学校の創意工夫により規模の縮小や内容の見直しを行い、農業体験や地域活動に取り組みました。		700 700
①-6	ふれあい交流事業	様々な交流を通して、各地域の個性と特色を尊重するとともに自らの地域を再認識し、郷土に対する愛着や誇りの気持ちを持てるよう、子どもたち同士の交流、地域との交流、小中学校間の交流を促進します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のため、市内小学校が参加する連合運動会や音楽会を実施することができませんでした。スムーズな中学校生活を行うための6年生が中学校を訪問する小中連携事業は、感染症対策をして実施することができました。		1,732 607
①-7	小学校教育振興事業	教科化となる外国語科への対応や2020年度より必修化となるプログラミング教育への対応、また、学習指導要領の改訂に伴う教科書の改訂等、変化が著しい教育環境に対応します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業に伴い、家庭学習用の動画の視聴が全家庭で行えるよう対応をいたしました。また、再開後は、学習活動が著しく制限された中で、感染症対策を十分に行った上で各学校や教員の創意工夫により、教育活動が展開されました。寄附市民参画の寄附金を活用して児童用の本や3年生以上の普通教室に大型モニター127台を購入し、教育環境の充実を図ることができました。		87,452 81,908
①-8	中学校教育振興事業	生徒に対して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させ、課題を解決するための必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む姿勢を養い、個性を生かした教育の充実を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業に伴い、家庭学習用の動画の視聴が全家庭で行えるよう対応をいたしました。また、再開後は、学習活動が著しく制限された中で、感染症対策を十分に行った上で各学校や教員の創意工夫により、教育活動が展開されました。寄附市民参画の寄附金を活用して生徒用の本や全普通教室に大型モニター88台を購入し、教育環境の充実を図ることができました。		48,011 45,721
②-1	学級運営支援事業	気がかりな児童生徒の学習支援を行うために学級サポーターを配置し、スムーズな学級運営を図る。また、学校生活に支障がある児童生徒の生活支援も行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	発達障がい等により、学習面や生活面で特別に支援を必要とする児童生徒のために、学級サポーターを配置し、対象となる児童生徒の学習支援と学級運営の円滑化が図られました。英語の教科指導員を配置することによって、特に小学校教員の英会話や授業の進め方のスキルアップにつながりました。		95,906 87,435

No.	事業名	事業内容	所管課
②-2	学力充実推進事業	学力調査を行うことにより、児童の確かな学力の分析を行い、授業改善に取り組み、高い学力の維持を図ります。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	例年、国が実施する学力調査の日程に合わせて坂井市学力テストを実施してきたが、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業により実施することができませんでした。臨時休業中に市立小中学校に在籍するすべての児童生徒が家庭学習で使用するための課題集の印刷製本や、インターネット環境がない家庭のための授業動画のDVDを各学校から配布しました。		2,193 1,423
③-1	学校運営支援事業	教職員の働き方改革、業務負担の軽減を図るため、今後も配置を希望する小中学校に学校運営支援員の配置を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	児童生徒に配布するための教材のコピーや印刷等、教員の事務負担軽減のために、学校運営支援員を配置して教員の多忙化解消が図られました。		7,134 6,134
③-2	教育相談事業	学校に行きたくても行けない児童・生徒に、個に応じた学習活動を進めながら心の安定を図り、学校復帰への援助を行うとともに、その保護者に対しても子どもへの理解や対応に関する教育相談を行います。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	不登校の児童生徒に対し、適応指導教室の指導員、訪問員が学校と連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行いました。		14,023 13,333
③-3	スクールソーシャルワーカー活用事業	社会福祉に関する専門的な知識を生かして、学校だけでは解決が難しい複雑化した事例に対して、関係機関と連携し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	複雑な家庭の状況による児童生徒の問題行動など、学校対応が困難な事案は、スクールソーシャルワーカー2名が各学校と連携することにより、福祉関係機関に繋げるなど児童生徒本人やその家庭に対して支援を行った。		4,531 4,492
④-1	小・中学校管理事業	小・中学生が充実した学校教育を受けることができる教育環境を整えるため、市内24小・中学校施設の適正な維持管理を行います。特に、ICT環境整備については、主体的な学びと実践力を備えるため充実を図ります。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	小・中学校の適正な維持管理に努めました。GIGAスクール構想に基づき児童生徒1人1台のタブレット端末7,688台(予備含む)を整備しました。各小・中学校において新型コロナウイルス感染症対策として、パーテーション、扇風機、拡声器など消耗品や備品を購入し、感染拡大防止に努めました。なお、コロナ関係予算を一部来年度へ繰越し、引続き感染拡大防止を図ります。		863,530 726,454
④-2	小・中学校施設整備事業	児童・生徒の安全・安心を確保し、災害に備えるために、建築後40年が経過し、かつ、以前の改修から20年を経過する学校等について計画的に施設の大規模改造工事を行います。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	GIGAスクール構想に基づき校内通信ネットワーク環境を整備しました。教育環境の整備・改善のため、春江小学校(Ⅱ期)と三国北小学校(Ⅰ期)の校舎大規模改造工事と、磯部小学校の校舎大規模改造工事に向けて実施設計業務委託を行いました。また、小学校4校のトイレ改修工事、小学校16校と中学校4校の屋内運動場照明改修工事(LED化)を行いました。明彦小学校の校舎大規模改造工事と小学校5校のトイレ改修工事は来年度に繰越しして施工します。		1,536,026 984,544
④-3	省エネ対策事業	エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)に基づき、特定事業者として、中長期計画書及び定期報告書の国への提出や説明会等への出席など、省エネに関する知識を習得し、意識を高めます。また、市内24小・中学校に設置したデマンド監視システムについて、各学校とデマンド値の設定協議を行い、省エネに対する理解と協力を得ながら教育環境を整えていきます。	教育総務課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	中長期計画書及び定期報告書を作成し、国へ提出しました。デマンド監視システムを用いて、電力量を制御し、省エネに努めました。		1,540 1,511

No.	事業名	事業内容	所管課
⑤-1	学校給食管理事業	すべての児童・生徒に安全で安心できる学校給食を提供します。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	丸岡自校式や春江坂井学校給食センターにおける給食提供にあたっては、安全で安心な給食の提供のため、臨時職員の確保等、安定した調理体制の確立を図りました。新型コロナウイルス感染症対策のため、栄養士や給食調理員を対象とした研修は実施できませんでしたが、調理場の衛生管理等の向上に努めました。地産地消を推進するために、県の事業で食材の提供を受けた若狭牛を使用した給食を全小中学校で提供しました。学校給食における地域食材の学習として、らっきょうを題材として行いました。		62,449
No.	事業名	事業内容	所管課
⑤-2	三国学校給食管理事業	三国学校給食センターの新設に伴い、調理業務を委託し、より効果的・効率的なセンターの運営を図るとともに、安全で安心できる学校給食の提供に取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	中学校1校、小学校9校、幼稚園等4園の計14施設に給食を提供しました。地元の野菜、若狭牛、甘えび、甘鯛、白茎ごぼう等、地場産や特産の食材を取り入れた献立を作成し、関連する知識や情報の提供を行いました。なお、令和2年度の地場産食材の使用率は、48.6%でした。また、SDGsの取組として、調理方法や量の調整等による対策の外、学校等での食育を通して食品ロスの削減に努めました。		299,274
No.	事業名	事業内容	所管課
⑤-3	春江坂井学校給食センター管理事業	三国学校給食センターの新設に伴い、配送先の見直しを含め、より効果的・効率的な学校給食の提供とセンター運営に取り組みます。	学校教育課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	中学校2校、小学校4校、幼稚園2園の計8施設に給食を提供しました。地元の野菜、若狭牛、甘えび、甘鯛、白茎ごぼう等、地場産や特産の食材を取り入れた献立を作成し、関連する知識や情報の提供を行いました。なお、令和2年度の地場産食材の使用率は、50.3%でした。また、SDGsの取組として、学校等での食の大切さや食文化への関心理解を深める食育に努めました。		247,469

4. 基本計画に対する課題と展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

<p>①【教育内容の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例教育委員会や総合教育会議にて、第二次坂井市教育振興基本計画などを協議し、教育内容の充実を図りました。今後も協議を継続していきます。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、これまでに経験がなく先が見えない長期にわたる小中学校の臨時休業により児童生徒の学習の遅れや家庭での生活等、不安が増大していました。学校再開後においては、教育活動においてさまざまな制約がある中で、各学校や教職員の創意工夫により、学習活動が展開されました。コロナ禍の中での学校の活動が今後も継続することとなります。 <p>国が進めるGIGAスクール構想により、新型コロナウイルスの影響で計画が前倒しとなり、児童生徒一人一台のタブレット端末が整備されました。ICTを活用した学習が今後ますます求められるものと考えられます。GIGAスクール構想で整備したタブレット端末を始めとしたICT機器や寄附市民参画の寄付金を活用した授業支援ソフトやデジタルドリルを活用して「主体的対話的な深い学び」や「個別最適化された学び」の実現を目指します。また、魅力ある学校づくりの指標である「学校は楽しい」「みんなで何かをするのは楽しい」「授業に主体的に取り組んでいる」「授業がよくわかる」の割合を高くして、子どもたちの学校の居場所づくりや分かりやすい授業に努めます。児童生徒が自らの地域の課題等を改善する体験学習を実施することで、郷土に誇りや愛着を持ち、新たな活力を生み出す人材を育成します。</p>
<p>②【個に応じた学習支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な個の学びを保障するためにチーム・ティーチングや少数指導などの指導体制の工夫とともに、学級サポーターの配置拡充など、個に応じた学習支援体制に取り組みました。また特別支援学級、通級指導により、児童生徒がそれぞれの特性に配慮した教育を受けられるよう支援しています。特別な支援を必要とする児童生徒一人一人に対応した指導を行うため、支援会議を開き、関係機関などとの連携を図りながら支援内容を検討するなど、特別支援委員会を就学による学校生活が円滑に移行できるよう、取り組んでおります。今後も引き続き支援体制の充実を図っていきます。
<p>③【就学指導体制・教育相談体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒に対し、適応指導教室と学校が連携して保護者支援や児童生徒の個別指導を行いました。また、学校対応が困難な事案はスクールソーシャルワーカーが連携することにより、福祉関係機関につなげるなど児童生徒本人やその家庭に対して支援を行いました。市教育支援委員会を中心に、幼保園等、小中学校を含めた各校種間や県特別支援教育センター、特別支援学校、医療機関などとの連携を強化し、そのネットワークの中で、支援が必要な児童生徒の状況や支援内容などについて共通理解を図るとともに、当該児童生徒の保護者への適切な教育相談・就学指導に取り組みます。 <p>教職員の業務負担を軽減するため適正な人員を配置し、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。今後も引き続き学校運営支援員の配置を行い、授業の準備や研究のための時間を確保するとともに、教員の資質向上に取り組みます。</p>
<p>④【安全な教育環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想に基づき、市内全小中学校において、児童生徒1人1台のタブレット端末の導入、校内ネットワークやセンターサーバーの整備のほか、2小学校の大規模改修工事及び1小学校の設計業務により、教育環境の整備を行いました。
<p>⑤【安全で安心な学校給食の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三国学校給食センター、春江坂井学校給食センター、丸岡地区自校式小学校との連携を図りながら、すべての児童生徒の豊かな心・健全全ての児童生徒の豊かな心・健やかな体の育成に向け、栄養バランス等を考えた安全で安心な学校給食を提供します。 <p>また、地場産食材を使用した給食の提供に努め、地元の食文化への関心理解を深め、望ましい食習慣や幅広い知識の習得に向けた食育を行います。</p>

5. 基本計画に向けた令和3年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業等の方向性

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
①-1	教育委員会運営事業	教育総務課	効果あり	継続
①-2	教育委員会事務局事業	教育総務課	効果あり	継続
①-3	キャリア教育支援事業	学校教育課	将来的な効果あり	継続
①-4	地域と進める体験推進事業(小学校教育振興事業)	学校教育課	将来的な効果あり	継続
①-5	地域と進める体験推進事業(中学校教育振興事業)	学校教育課	将来的な効果あり	継続
①-6	ふれあい交流事業	学校教育課	将来的な効果あり	継続
①-7	小学校教育振興事業	学校教育課	効果あり	継続
①-8	中学校教育振興事業	学校教育課	効果あり	継続
②-1	学級運営支援事業	学校教育課	効果あり	継続
②-2	学力充実推進事業	学校教育課	効果あり	継続
③-1	学校運営支援事業	学校教育課	効果あり	継続
③-2	教育相談事業	学校教育課	効果あり	継続
③-3	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	効果あり	継続
④-1	小・中学校管理事業	教育総務課	効果あり	継続
④-2	小・中学校施設整備事業	教育総務課	効果あり	継続
④-3	省エネ対策事業	教育総務課	将来的な効果あり	継続
⑤-1	学校給食管理事業	学校教育課	効果あり	継続
⑤-2	三国学校給食管理事業	学校教育課	効果あり	継続
⑤-3	春江坂井学校給食センター管理事業	学校教育課	効果あり	継続

令和2年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人					450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	211,542 人					480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-2 社会教育・生涯教育の充実							
<p>①【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】</p> <p>○一人一人が自己の教養を深め自己実現が図れるよう、生涯学習機会の充実に取り組み、誰もが豊かな人生を送ることができる社会づくりを推進します。</p> <p>○地域やNPO法人、ボランティア団体、大学等と連携を図り、よりよい生活や地域を創る学習活動を推進します。</p> <p>○子どもと大人がふれあう講座の実施など世代を越えた交流を促進し、子どもたちの共生する力を育みます。</p> <p>②【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】</p> <p>○コミュニティセンター内にカフェなど憩いのスペースを設置し、市民がふれあう地域コミュニティの場を提供します。</p> <p>○さまざまなアプローチによるまちづくりに繋がる講座等を実施し、学習と交流の場を提供します。</p> <p>○地域の特性を活かし、シビックプライドの醸成を図る催し等を実施します。</p> <p>○各々が描くまちづくりを実現するため、個人またはグループの活動を支援します。</p> <p>③【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】</p> <p>○市内の豊かな自然に触れ合う体験活動等を提供し、健やかな心身を持つ青少年を育成します。</p> <p>○小学生が地域の施設に宿泊し通学する事業などを通じて、自立性・自主性・協調性を育みます。</p> <p>○学校と地域が連携強化し、見守り活動や青少年の非行防止活動、家庭教育支援の充実に図り、地域全体で子どもや家庭を見守り育てるための環境づくりを進めます。</p> <p>④【図書館機能の充実】</p> <p>○教育・文化に関する領域に留まらず、市民の暮らしや社会に役立つ情報を提供します。</p> <p>○子どもたちの読書普及活動を推進します。</p> <p>○高齢者や障がいを持つ人が利用しやすい読書環境を整備します。</p> <p>○記念文庫内の貴重な資料の適正な保存管理に努めます。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンターで開催された講座数	332講座 (平成30年度)	288講座					350講座 (令和6年度)
コミュニティセンターで開催された講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人					26,000人 (令和6年度)
市立図書館貸出冊数	860,183冊 (平成30年度)	622,630冊					880,000冊 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに						

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課	
①-1	放課後子ども教室事業	地域の参画を得て、ノウハウを共有しながら、すべての児童に対して放課後等に多様な体験活動を提供し、居場所づくりと次代を担う人材育成を図ります。	生涯学習スポーツ課	
	主な取り組み実績		予算 (千円)	決算 (千円)
	地域の協力を得て、各地域の実情や特色に合わせながら、長期休暇中や放課後などを利用して子どもたちが様々なことに挑戦できる機会と居場所づくりができました。市内24か所のコミュニティセンターで実施し、年間延べ4,630名の児童が参加しました。		4,000	2,300

No.	事業名	事業内容	所管課
②-1	コミュニティセンター運営事業	コミュニティセンター講座、リレー講座など、地域の誇りやニーズに沿った講座を開催し、生涯学習の機会を提供することに加え、地域間の交流を促進します。また、コミュニティセンターに憩いのスペースを設置し、気軽に利用できる施設運営を行います。	まちづくり推進課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナ禍においても自宅でコミュニティセンター講座が受講できるようYouTubeで動画配信を行うとともに坂井チャンネルの番組においても放送を行いました。また、社会全体のデジタル化が進められる中で必要性が増したスマートフォン等の体験講座を高齢者を中心に実施しました。		8,598 5,313
②-2	社会教育団体補助事業	社会教育団体の活動を支援し、その運営基盤の強化を図り、持続可能な社会教育の推進を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	地域社会の活力向上や社会教育活動を通して市民の交流が図れる団体の活動の支援ができました。坂井市PTA連合会事業に201,000円、ガールスカウト育成団体運営に140,000円、ボーイスカウト育成団体運営に70,000円、坂井市女性の会運営に1,000,000円、三国海洋少年団育成団体運営に30,000円、かるた協会事業に119,000円の活動補助をしました。		1,840 1,560
②-3	市民運動推進事業	地域での花壇づくり等市民の自主的かつ創意的に取り組む活動を支援し、住みよいふるさとづくりの推進を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	例年実施している花壇コンクールに今年度挑戦した団体は、今年度も広域部門で7団体、地区単位で40団体の応募があり、花壇づくりをはじめ、市民が自らの創意による活動を通して、市民憲章に根ざした活力ある住みよいまちづくりを目指した意識向上と推進を図ることができました。		416 340
②-4	子ども会育成事業	幼少年期から家庭や学校以外の地域の大人と関わる機会を提供し、地域に根ざした活動体験を通して、子どもの健やかな成長と青少年のリーダーとなる人材育成を推進します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染拡大のため大きな大会であるチャレンジランキング大会やディスクドッチ大会は実施できませんでしたが、壁新聞コンクールには個人での応募が低学年の部で8点、高学年の部で7点の応募があり、仲間とは違った視点で各個人が大きな誌面を自由に創作する面白さが感じられ、青少年のリーダー育成を目的に子ども会活動の支援や組織の育成を推進できました。また、ジュニアリーダーズクラブは例年より子ども会活動が減少した影響を受けましたが、できる活動を精一杯行い、人材育成を図ることができました。		2,144 1,075
②-5	成人式事業	市として新成人の門出を祝福し、成人としての自覚と心構えを促すとともに、ふるさと坂井市への想いを高め、地元での活躍や地域貢献への醸成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	昨年度は大雪と新型コロナウイルスの影響を受け当初1月に予定していた体育館2会場での実施が3月に2部構成にて延期し、コロナ対策や参加状況など検証をかねた実施ができました。内容も、コロナ禍で不便な生活を強いられている成人に少しの時間でも楽しんでもらえるよう、ヒナタカコミニライブや坂井市ふるさと納税の返礼品で人気の商品を抽選会賞品として厳選しました。来年度以降も3月実施で実行委員会とともに坂井市愛のあられる式を実施していきます。		3866 3775
③-1	わんぱく少年団事業	坂井市の自然を体験・体感して楽しめる魅力あるプログラム(キャンプや磯観察等)を設定し、元気で心豊かな少年を育成します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	コロナ禍の中、例年よりスタート時期が遅れましたが、坂井市内の小学5、6年生31名の参加で、7回シリーズのミッションを遂行できました。中でも一番過酷だったたけくらべ山トレッキングは、参加児童の心と体を鍛える良い機会となりました。主にちくちくぼんぼんでの活動とあり、坂井市の豊かな自然のなかでできる屋外活動や体験活動をとおして、学校間を超えた仲間づくりができたことで坂井市を大切にす健やかな心身を育むことができました。		462 329

No.	事業名	事業内容	所管課
③-2	坂井・延岡ジュニア交流事業（体験型交流による子どもの育成）	宮崎県延岡市との姉妹都市交流事業の一環として、PTAの関係者並びに地域のボランティア等が両市の児童と体験学習を通じて、地域で子どもたちを育てる意識の高揚を図る。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	新型コロナウイルス感染拡大のため招へいを中止にしました。代替として、現地のまだ坂井市を知らない子どもたちへ少しでも坂井市を知ってもらうため、昨年度の派遣団の中から希望者5名に、丸岡城や東尋坊、そば打ちの様子などの動画作成に挑戦してもらい、PR画像を完成し、延岡市へ送ることができました。		349
No.	事業名	事業内容	所管課
③-3	合宿通学事業	家庭を離れ合宿生活を体験することで、日常における家族への感謝の気持ちや自主性、協調性を育てます。また、地域の方々の協力のもと、子どもと地域の結びつきを図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	新型コロナウイルス感染対策のため、「防災合宿」として市内4小学校5、6年生延べ85名の参加により実施しました。例年とは形式を変え、1泊で段ボールベッドと災害用ワンタッチテントを設置することで仕切ったり、防災学習をふんだんに取り入れることで、学校で習う防災学習を応用し体験することができ、防災について知る機会をつくるとともに、将来の坂井市「防災に強いまちづくり」を考えるきっかけとなりました。		1,285
No.	事業名	事業内容	所管課
③-4	心の家庭教育支援事業	家庭教育支援員による子どもとの会話や保護者からの相談業務を通じて、子育てに必要な情報や手法を提供するとともに、学校等と連携し、さまざまな角度から家庭教育の支援に取り組みます。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	新型コロナウイルス感染拡大のため例年通りの訪問活動ができない中でも、家庭教育支援員36名の地道な活動により、学校生活に悩む小学生や子育てに不安を感じる保護者にこれまでの経験を活かしたアドバイスや、広報誌「ほやほや」の内容の充実、またFBCの子育てテレビ番組「ぶらり子育てしゃべり隊」の出演を通して、家庭の教育力を支援する存在があることをPRできました。		1,500
No.	事業名	事業内容	所管課
③-5	青少年育成坂井市民会議事業	地域における、見守り活動や挨拶運動など、子どもたちが安心して生活できる環境づくりに取り組み、次代を担う青少年の健全な育成を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円）
	新型コロナウイルス感染拡大のため会員同士の交流は図れなかったものの、市内23支部では約870名の補導員により従来通りの見守りに加え、登下校時間にとらわれない見守り準会員「いきいき見守り隊」の募集をしたところ16名の登録があり、子どもたちの見守りの目を強化することができました。		2,670
No.	事業名	事業内容	所管課
④-1	子どもの読書活動推進事業	お話し会や、ブックスタート事業、講演会などを通して、子どもが本と出会う機会をつくります。また、読み聞かせボランティアの育成や支援に努めます。	図書館
	主な取り組み実績		予算（千円）
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お話し会や行事等を開催できなかったが、ブックスタート事業は7月から開始し569名の受講があり、乳児の保護者やその家族から好評を得ている。		1,995
No.	事業名	事業内容	所管課
④-2	図書館サービス事業	地域における生涯学習の場として、高齢者や障がいを持つ人も図書館を円滑に利用できるようなきめ細やかな対応に努めます。	図書館
	主な取り組み実績		予算（千円）
	地域における生涯学習の場として、市民が親しみを持てる図書館を目指し、くらしや趣味等に役立つ資料や情報の収集として約15,600冊（24,000千円）を購入し、整備保存に努めた。また、各館とも快適な施設の維持管理を行った。		134,792
No.	事業名	事業内容	所管課
④-3	記念文庫運営事業	偲ぶつどいや講演会などを開催するとともに、記念文庫内資料の適切な保存管理を行い、郷土にゆかりのある文学や歴史を継承していきます。	図書館
	主な取り組み実績		予算（千円）
	くちなし忌は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが、小葉田文庫にちなんだ講演会を2月に開催した。また各文庫関係の貴重な資料の保存や整理を行った。		1,181

4.<基本計画に対する課題と展開（具体的な事業の実績を踏まえて）>

- ①【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】
- ・放課後子ども教室事業について、各地域の実情や特色に合わせながら、長期休暇中や放課後などを利用して子どもたちが様々なことに挑戦できる機会と居場所づくりができました。市内24か所のコミュニティセンターで実施し、年間延べ4,630名の児童が参加しました。参加者ひとりひとりが教養を深めステップアップができました。引き続き、児童が求めるものと提供する側の意志が合致する内容も取り入れながら進めていきます。
- ②【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】
- ・成人式事業について、今年度は大雪と新型コロナウイルスの影響を受け当初1月に予定していた体育館2会場での実施が3月に2部構成にて延期し、コロナ対策や参加状況など検証をかねた実施ができました。内容も、コロナ禍で不便な生活を強いられている成人に少しの時間でも楽しんでもらえるよう、ヒナタカミニライブや坂井市ふるさと納税の返礼品で人気の商品を抽選会賞品として厳選しました。坂井市が大好きな実行委員を中心に、参加者がやっぱり坂井市にいたい、帰りたいと思わせる内容にするため約10回開催した実行委員会で活発な意見交換が行われました。成人式は、来年度以降も3月実施で実行委員会とともに坂井市愛のあふれる式を実施していきます。参加者の減少はみられないものの実行委員の確保に努めます。
 - ・新型コロナウイルス禍において、YouTube等による講座を実施し好評を得たものの、双方向による講座の実施、あるいは県外の講師によるセミナーの実施など、映像音声を通じたコミュニケーション形式を臨む声が増えてきています。現状のコミュニティセンターのWi-Fi環境はカフェスペース周辺に限られているため、前述の講座等を実施することが困難な状況にあります。今後は、26のセンターにWi-Fi環境を整備し、すべての部屋でインターネット通信が可能となる環境を整備していきます。また、すべてのコミュニティセンターにタブレットを配備し、コミセン講座で活用する他、SNSを活用した講座開催の案内、災害時における情報収集のツール、オンラインによる会議の実施やスキルアップのための職員研修への参加など、幅広く活用していきます。
- ③【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】
- ・合宿通学事業について、新型コロナウイルス感染対策のため、「防災合宿」として市内4小学校5、6年生延べ85名の参加により実施しました。例年とは形式を変え、1泊で段ボールベッドと災害用ワンタッチテントを設置することで仕切ったり、防災学習をふんだんに取り入れることで、学校で習う防災学習を応用し体験することができ、防災について知る機会をつくとともに、将来の坂井市「防災に強いまちづくり」を考えるきっかけとなりました。児童をはじめ地域や学校、保護者から継続の要望があります。防災担当課や福祉関係と連携した「防災合宿」スタイルで取り組んでいくことが新しい生活様式を取り入れた理想の形になります。さらに地域と連携し「防災」をきっかけとして地域全体で子どもたちの健全育成に取り組んでいきます。
- ④【図書館機能の充実】
- ・4月上旬に感染状態が深刻化し、ほぼ1ヵ月休館しました。再開以降は感染への危険性から、利用を控える人が多いのではないかと危ぶまれましたが、予約を待つ利用者等が変わらず来館がありました。また約15,600冊の新刊図書を購入し、市民のくらしや趣味等に役立つ資料や情報の提供に努めました。また新型コロナウイルス感染拡大防止のため、おはなし会および行事のほとんどが未開催になりましたが、ブックスタート事業は7月から開始し569名の受講がありました。ひとり一人の人生を豊かにする読書や調査研究の機会を提供する役割と、住民の交流拠点としての機能を強化します。様々な理由で困難な状況にある住民に対し、他機関とも連携を図り知識を得る機会を充実する等、図書館サービスの可能性を開くことを目指し、同時に子どもの読書活動の機会を広げます。また新型コロナウイルス感染状況を十分に配慮ながら、住民のニーズに応えられる資料の提供と、おはなし会や行事を安全に開催できるよう努めます。

5.基本計画に向けた令和3年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の具体的な事業等の方向性

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
①-1	放課後子ども教室事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
②-1	コミュニティセンター運営事業	まちづくり推進課	効果あり	継続
②-2	社会教育団体補助事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
②-3	市民運動推進事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
②-4	子ども会育成事業	生涯学習スポーツ課	将来的な効果あり	継続
②-5	成人式事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
③-1	わんぱく少年団事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
③-2	坂井・延岡ジュニア交流事業(体験型交流による子どもの育成)	生涯学習スポーツ課	将来的な効果あり	継続
③-3	合宿通学事業	生涯学習スポーツ課	将来的な効果あり	継続
③-4	心の家庭教育支援事業	生涯学習スポーツ課	将来的な効果あり	継続
③-5	青少年育成坂井市民会議事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
④-1	子どもの読書活動推進事業	図書館	将来的な効果あり	継続
④-2	図書館サービス事業	図書館	小さい効果	継続
④-3	記念文庫運営事業	図書館	将来的な効果あり	継続

令和2年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人					450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	211,542 人					480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興							
<p>①【文化財の保存と活用】</p> <p>○地域にある文化財の調査や掘り起こしを行い、保存活動を進めるとともに、文化財を活用した地域活性化を図るため「坂井市文化財保存活用地域計画」を策定し、まちづくりや観光分野とも連携した活用に取り組みます。</p> <p>○三国祭や舟寄踊、日向神楽などの地域に残る無形文化財を後世に伝承するため、活動の記録・保存とともに、文化継承の担い手の確保や育成を支援します。</p> <p>○丸岡城の学術調査の成果をもとに、市民と文化財としての価値を共有するとともに、丸岡城天守や周辺部「城郭・丸岡城」の文化財としての価値の確立と観光資源としての評価の向上に取り組みます。</p> <p>○六呂瀬山古墳群をはじめ、埋蔵文化財の保存・出土品等の保存整理と公開活用に必要な施設整備等に取り組みます。</p> <p>○みくに龍翔館については、歴史文化遺産に関する資料を収集・保存・調査研究・展示活用する博物館機能を強化するとともに、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。</p> <p>②【文化芸術活動の振興】</p> <p>○坂井市文化協会をはじめとする文化団体の活動や後継者育成に対する支援に努めます。</p> <p>○文化ホールを市民の文化活動の拠点として広く活用してもらうため、各施設の機能や特性を活かし利用促進を図っていきます。</p> <p>○一筆啓上日本一短い手紙の館は、「一筆啓上賞」を核に地域に根ざした手紙文化を広く発信していくとともに、手紙に触れる機会を通して郷土に対する誇りや愛着を深めてもらえるよう、学校や地域との連携を図っていきます。</p> <p>○優れた芸術作品に触れる機会を創出し、市民の文化・芸術に関する感性と創作意欲の向上を図ります。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
丸岡城入場者数	128,158 人 (平成30年度)	69,616人					150,000人 (令和6年度)
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人					30,000人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	4.質の高い教育をみんなに			11.住み続けられるまちづくりを			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
①-1	地域計画作成事業	歴史・文化を活かしたまちづくりを計画的・継続的に推進するため、文化財の保存・活用に関する総合的な計画を作成します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	計画を作成するにあたり、文化財保存活用地域計画協議会を2回開催し、内容を議論しました。文化財の調査を行い、新たな価値を把握しました。また、地域の文化財の掘り起こしや市民ニーズの把握、計画の周知を行うため、ワークショップを5回、フォーラムを1回開催し、延べ120人の参加が得られ、新聞や地域の広報誌に取り上げられました。		5,506 4,813
No.	事業名	事業内容	所管課
①-2	文化財保存管理事業	文化財の保存管理に必要な措置を講じていくとともに、市民への公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	昨年の地震で被災した市指定文化財の針原八幡神社石造多層塔の修理費等に補助を行いました。また、同じく昨年市内に営業した特別天然記念物コウノトリのオスが事故死したため、はく製を作製しました。さらに市有の出世山古墳公園の緑地維持管理を行うなど、文化財の維持・継承に努めました。		9,914 7,204

No.	事業名	事業内容	所管課
①-3	埋蔵文化財発掘調査事業	市内に分布する埋蔵文化財包蔵地に支障をきたさないよう、工事施工業者への周知に心がけるとともに、適切な指導・助言に努めていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	年間を通して、周知の埋蔵文化財包蔵地の照会件数は約672件あり、実際に埋蔵文化財発掘届出書が提出されたのは196件でした。前年度に比べて周知をこまめに行ったことにより、埋蔵文化財発掘届出書の提出義務が行き届いてきたと考えられます。		6,389 4,792
No.	事業名	事業内容	所管課
①-4	丸岡城国宝化推進事業	調査成果の周知広報を通して、丸岡城の文化財的価値の向上を図ります。また、引き続き丸岡城の学術的調査を継続するとともに、調査で収集した資料を広く公開するよう、報告書やパンフレット等を作成して教育普及に努めます。	文化課 (丸岡城国宝化推進室)
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	公益財団法人文化財建造物保存技術協会に丸岡城天守の耐震診断および耐震補強プランの策定を依頼しました。8月18日及び3月3日に丸岡城調査研究委員会 構造部会を開催し文建協から提案された4つのプランについて検討頂き、天守の耐震補強の方針を決定しました。丸岡城城山の発掘調査の報告書や、丸岡城に関するリーフレット(知られざる丸岡城No.7、No.8)を刊行しました。		38,100 35,836
No.	事業名	事業内容	所管課
①-5	みくに龍翔館管理運営事業	建築・設備および展示の改修工事を行い、令和5年春のリニューアルオープンを目指します。市の博物館として適正な施設の維持管理を行い、歴史文化遺産の保存活用のもとで充実を図ります。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	令和2年度は、施設改修工事・展示製作の設計を行い、数万点に及び全収蔵資料を館外へ移設しました。11月からはリニューアル改修工事に伴う長期休館となるため、10月の1ヶ月間を入館無料とし、来館者の利用拡大を図りました。今後は、令和3年度に施設改修工事を、令和3年度・4年度に展示製作を行います。なお、施設改修工事に係る経費は、地方創生拠点整備交付金の事業採択を受けたことに伴い、令和2年度第13号補正で計上し、令和3年度に全額繰り越しました。		942,175 93,578
No.	事業名	事業内容	所管課
①-6	みくに龍翔館資料収集・保存事業	坂井市の豊かな歴史文化遺産に関する資料を収集し、その散逸を防ぎ、未来への遺産として後世に引き継ぎます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	みくに龍翔館施設改修工事に伴う収蔵資料の館外移設のため、資料の燻蒸を行いました。また、新収蔵資料183点の受け入れと資料登録を行いました。		6,031 4,743
No.	事業名	事業内容	所管課
①-7	みくに龍翔館調査研究事業	収蔵資料および展示資料等の調査研究を進め、坂井市の歴史や文化に関する研究拠点としていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	展示製作の設計に伴い、新常設展示について調査を進めてきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で専門家の対面指導や、県外視察・調査は制限を受けましたが、今後はより一層、調査研究の推進を図る必要があります。		2,029 524
No.	事業名	事業内容	所管課
①-8	みくに龍翔館展示および教育普及事業	博物館施設として基盤となる資料収集、調査研究の成果を還元・反映し、坂井市の風土、歴史・文化をわかりやすく魅力的に伝え、市民や来館者が「楽しく学べる場」を目指します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	11月からはリニューアル改修工事に伴う長期休館となるため、10月の1ヶ月間を入館無料とし、リニューアルのPRと入館者拡大を図りました。同時に、来館者にアンケートを実施し、来館者層や来館手段、現在の常設展への感想、今後のリニューアルに向けた意見等を聴取しました。		325 273
No.	事業名	事業内容	所管課
①-9	みくに龍翔館観光連携事業	館に多く収蔵される日本遺産「三国湊」の構成文化財や、東尋坊などの観光資源に恵まれた立地条件を活かし、来館者の誘致拡大を図るとともに、丸岡城をはじめとした市内観光地へと誘導していきます。また、観光と連携した情報発信機能を高め、交流人口の拡大を図る拠点となるよう取り組みます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から5月20日まで臨時休館しました。開館中は、消毒を行い、三密を避けるなど、各種新型コロナウイルス感染症予防対策を講じました。		50 6

No.	事業名	事業内容	所管課
②-1	文化活動支援事業	日頃の活動成果を発表する文化祭の開催を支援し、文化活動に対する市民の積極的な参加を推進します。また、文化ホールで開催する様々な舞台芸術公演を支援し、文化に触れる機会を提供します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底して開催し、市内4地区の会場いずれも盛況でした。公演事業では、様々なジャンルのアーティストの公演や地元出身の音楽家によるコンクール、演劇教室MAFFの朗読配信企画等に取り組みました。支援事業では3件申請がありましたが、うち2件は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。開催した1件は予定よりも多くの方々に来場いただくことができました。		15,500 14,498
No.	事業名	事業内容	所管課
②-2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	一筆啓上賞を市内外に発信する施設として、手紙にまつわる様々な企画に取り組みます。また、丸岡城と一体化した来館者の取り込みを図るとともに、市のPRにつなげていきます。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	丸岡文化財団に手紙の館の事業運営を委託し、一筆啓上賞や手紙をテーマにした企画展等を実施しました。一筆啓上賞の作品応募数は例年よりも大幅に増加し、5万通を超える結果となりました。また、手紙の館の入館者数については、新型コロナウイルスの影響で観光客が少なくなり、例年よりも減少しました。		14,145 14,145
No.	事業名	事業内容	所管課
②-3	ONOメモリアル管理運営事業	地隔年開催の高校生現代アートビエンナーレをはじめ、現代美術等の企画・育成事業を実施します。	文化課
	主な取り組み実績		予算(千円) 決算(千円)
	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い各種イベントは中止としましたが、地元の高校と連携した展示について企画準備を行い、芸術分野における若者の育成を図りました。		4,600 2,483

4. <基本計画に対する課題と展開(具体的な事業の実績を踏まえて)>

①【文化財の保存と活用】
<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画作成事業については、令和3年度末に計画を作成し、令和4年度前期に文化庁認定を目指しています。計画内では、文化財の保存と活用の方針に基づくアクションプランとして、観光分野やまちづくりと連携した、地域住民と行政が一体となった文化財の保存と活用の具体的な方法を検討する必要があります。また作成後には計画に記載されたアクションプランに基づき、計画的な文化財の保存と活用のため、市民への計画内容や市内の文化財の周知や計画的な文化財把握調査の実施、埋蔵文化財の保存管理と公開活用場の検討を進めるとともに、庁内連携をはじめ、市民、団体との連携を図り、歴史と文化を生かしたまちづくりを推進します。 ・文化財保存管理事業では、文化財の所有者、管理者への補助や、市有の文化財保存管理事業は計画的に行われています。一方、現時点では無形文化財をはじめとした文化財の把握調査が進んでいない分野もあり、計画的に市内の文化財の把握調査をし、周知、記録を通して次の世代へ伝えることで保存と継承につなげる必要があります。 ・丸岡城については、令和2年度までに丸岡城天守の学術調査報告書、丸岡城跡の発掘調査報告書を刊行し、文化財としての価値を確立してまいりました。今後も引き続き調査は継続してまいります。 ・埋蔵文化財については、周知の埋蔵文化財包蔵地の照会件数は令和2年度は672件あり、年々増加傾向にあります。また実際に埋蔵文化財発掘届出書が提出された件数も令和2年度は196件となり、毎年増えています。そのため、試掘調査などで出た遺物の保存管理が必要とされますが、現時点ではそのための適切な場所の確保ができていない状況です。またこれまで出土した遺物の保存管理と公開活用場の確保も必要とされています。
②【文化芸術活動の振興】
<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動支援事業では、感染防止対策を行い公演事業を実施することができましたが、収容人数を制限したため、入場料が減収しました。適切な運営を図るためには、財源の確保をはじめ事業内容の工夫が重要です。また、支援事業で中止となった2事業について、翌年度の開催を提案し、事業実施の機会を設けるよう支援していきます。 ・一筆啓上手紙の館管理運営事業では、コロナウイルス感染症拡大の影響で、丸岡城の入城者数が激減したことに伴い、手紙の館の入場者数も前年度比43.5%に減少しました。丸岡城を中心とした歴史文化や周辺の賑わい創出となる事業の展開が求められます ・みくに龍翔館については、坂井市全体の歴史文化の保存・活用の拠点となる博物館施設として十分に役割を果たしていくため、施設・展示内容の適切な全面改修と、新しい運営方針の確立が課題となっています。そのため、地域の歴史文化遺産に関する資料の集積・保存・調査研究を行うとともに、魅力的な展示や事業展開を通じてシビックプライドの醸成や交流人口の増加を図るよう、新しい市の博物館として施設整備と新たな運営についての検討を進めます。 ・ONOメモリアルについては、隔年開催の高校生現代アートビエンナーレのほかにも、安定して現代美術の企画運営ができるような仕組みや体制を構築する必要があります。今後は施設の管理・イベントの企画運営について長期的な計画を立て、安定した運営ができるような仕組みを構築していきます。

5. 基本計画に向けた令和3年度から令和6年度間(第2次総合計画前期期間)の具体的な事業等の方向性

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
①-1	地域計画作成事業	文化課	効果あり	継続
①-2	文化財保存管理事業	文化課	効果あり	継続
①-3	埋蔵文化財発掘調査事業	文化課	効果あり	継続
①-4	丸岡城国宝化推進事業	文化課 (丸岡城国宝化推進室)	将来的な効果あり	改善(見直し)
①-5	みくに龍翔館管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	継続
①-6	みくに龍翔館資料収集・保存事業	文化課	将来的な効果あり	継続

①-7	みくに龍翔館調査研究事業	文化課	将来的な効果あり	継続
①-8	みくに龍翔館展示および教育普及事業	文化課	将来的な効果あり	継続
①-9	みくに龍翔館観光連携事業	文化課	将来的な効果あり	継続
②-1	文化活動支援事業	文化課	効果あり	継続
②-2	一筆啓上手紙の館管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	継続
②-3	ONOメモリアル管理運営事業	文化課	将来的な効果あり	継続

令和2年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート

1.<基本構想>

3 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930 人 (平成30年度)	224,555 人					450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682 人 (平成30年度)	211,542 人					480,000人 (令和6年度)

2.<基本計画および方針と基本施策>

3-4 生涯スポーツの振興							
<p>①【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ○市民一人ひとりが精神的な豊かさや充実を感じられ、生きがいつくりや体力の向上、健康の保持・増進により、生涯にわたって生き生きとした生活を送ることができるよう、スポーツやレクリエーションなどの生涯スポーツ活動を支援・推進します。</p> <p>②【トップアスリートの育成】 ○競技スポーツの向上には、一貫性のある指導体制による選手育成システムの構築が必要であり、トップレベルの競技者や指導者が活動できる環境の整備を推進します。 ○競技スポーツの振興に寄与する団体を支援し、小学生から高齢者まで競技者の段階的な育成を図ります。</p> <p>③【体育施設の効率的な管理運営】 ○市内全スポーツ施設の利用状況や管理経費等を総合的に検証したマネジメント計画を策定し、当該計画に基づき適正かつ効率的な施設整備並びに維持管理を行います。</p> <p>④【スポーツツーリズムの促進】 ○福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会を開催した実績とレガシー（遺産）を活かし、各競技の全国大会や国際大会の開催、トップアスリートの合宿誘致などスポーツツーリズムによる国内外との交流を深めます。</p>							
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人					11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人					150人 (令和6年度)
関連性の高いSDGsの17目標	3.すべての人に健康と福祉を			4.質の高い教育をみんなに			

3.<具体的な事業とその実績>

No.	事業名	事業内容	所管課
①-1	スポーツ大会運営事業	古城マラソンや市民スポーツ祭などスポーツイベントの開催のほか、各種スポーツ大会の運営に対して助成を行い、スポーツの振興を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	6月7日 坂井市古城マラソン（中止）、9月27日 坂井市民スポーツ祭（参加者数1,166人）、坂井・奥越地区高等学校野球大会運営事業補助金		4,727 3,591
①-2	スポーツ推進委員運営事業	スポーツ推進委員が行うスポーツの実技指導やニュースポーツ教室などの開催を通して生涯スポーツの推進のもと、市民の健康維持と交流を図ります。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	マリン体操、出前ニュースポーツ講座の開催（4回）		2313 1892
②-1	スポーツ振興事業	市民に地元の誇りとスポーツ意欲の向上をもたらすトップアスリートの輩出やトップチームを育成するための支援を行います。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算（千円） 決算（千円）
	全国スポーツ大会出場激励金 845千円（71名（16大会））、スポーツ少年団補助金 4,000千円、地域密着型トップスポーツチーム支援事業補助金 2,000千円		100,265 90,578

No.	事業名	事業内容	所管課
③-1	体育施設維持管理事業	体育施設に関するマネジメント計画等に基づき、効率的な管理運営を行います。また、ネーミングライツ等の費用負担を軽減する方を検討します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	丸岡運動公園テニス場人工芝張替工事 14,080千円、三国艇庫消火ポンプ移設取替工事 2,618千円、春江北グラウンド公衆トイレ新築工事 2,664千円、三国運動公園陸上競技場改修工事 4,169千円、三国運動公園園路排水改修工事 715千円、丸岡スポーツランド電光掲示板修繕工事 577千円、三国運動公園ディスクゴルフ用ゴール購入 1,637千円、AED購入 3,168千円		251,627
No.	事業名	事業内容	所管課
③-2	体育施設整備事業	施設の利用状況や利用者のニーズを把握し、計画的に改修や修繕など整備工事を行い、安全で快適なスポーツ環境づくりを進めます。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	令和2年度実施なし		0
No.	事業名	事業内容	所管課
④-1	ワールドマスターズゲームズ運営事業	誘客力や国際力のある各種全国大会や世界大会を積極的に誘致・開催する「坂井市版スポーツツーリズム」を促進し、スポーツによるまちづくりを目指します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	令和3年5月の開催に向け、市実行委員会の公式ホームページを整備し、大会の広報や参加者の募集を行い、募集開始二日後には海外からの参加選手が定員195名に達した。また、まちづくり協議会等団体の行事で、ディスクゴルフ教室を行うなど同競技の普及活動を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、ワールドマスターズゲームズ関西組織委員会の判断により令和4年度の開催に延期となった。		6,750
No.	事業名	事業内容	所管課
④-2	保健体育事務事業	スポーツ振興の充実を図るための事業を行います。また、各種協議会等に対し負担金を助成します。	生涯学習スポーツ課
	主な取り組み実績		予算(千円)
	令和3年に坂井市で開催される全国高校総体サッカー競技会を円滑に開催するため、先進地視察等準備を行った。また、東京パラリンピックの事前キャンプ誘致を目指し、ペルー共和国パラリンピック委員会とメールにて事前交渉を行った。スポーツ振興基本計画の改定とスポーツ施設マネジメント計画を策定した。		530

4.<基本計画に対する課題と展開(具体的な事業の実績を踏まえて)>

①【スポーツ・レクリエーションの振興推進】	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、丸岡古城マラソン等は中止となったが、坂井市民スポーツ祭は開催することができ、市民の生涯スポーツを推進できました。(参加者数1,166人)。これからは、既存のスポーツ大会やイベントの評価検証を行いながら、子どもから高齢者まで誰もがライフステージに応じて、また世代間の交流を通じて、気軽に参加できる魅力ある事業を展開していきます。また、障がいのある人のスポーツ活動への参加を促進するとともに、障がいの有無にかかわらず共にスポーツに親しむ機会を設け、スポーツを通じた交流を推進します。
②【トップアスリートの育成】	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団の補助金のほか、全国スポーツ大会に出場する児童・生徒へ激励金(71名(16大会))を送りました。子どもたちのスポーツへの取組が促進と育成を図ることができ、今後も継続していきます。
③【体育施設の効率的な管理運営】	<ul style="list-style-type: none"> ・丸岡運動公園テニス場の人工芝張替など行ったが、以前として多くが老朽化しており、施設の改修および再整備が求められています。費用面等も考慮しながら、計画的に改修・再整備またその維持管理を行っていくことで、より多くの人々がスポーツに触れ合う機会を伸ばしていきます。
④【スポーツツーリズムの促進】	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年5月の開催に向け、ワールドマスターズゲームズ坂井市実行委員会の公式ホームページを整備し、大会の広報や参加者の募集を行い、募集開始二日後には海外からの参加選手が定員195名に達しました。新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年に延期となりましたが、引き続き大会の開催に向けて準備を進めます。ワールドマスターズゲームズの開催を契機に、「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を進めていく必要があります。また、坂井市には、様々なスポーツ施設の他、多くの宿泊施設があり「スポーツ合宿」の誘致に適しているため、アクセスが容易な関西や中京圏からの誘致を積極的に進める必要があります。

5.基本計画に向けた令和3年度から令和6年度間(第2次総合計画前期期間)の具体的な事業等の方向性

No.	事業名	所管課	事業毎効果	今後の方向性
①-1	スポーツ大会運営事業	生涯学習スポーツ課	小さい効果	継続
①-2	スポーツ推進委員運営事業	生涯学習スポーツ課	小さい効果	継続
②-1	スポーツ振興事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続

③-1	体育施設維持管理事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
③-2	体育施設整備事業	生涯学習スポーツ課	未着手	継続
④-1	ワールドマスターズゲームズ運営事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続
④-2	保健体育事務事業	生涯学習スポーツ課	効果あり	継続